

# 貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	353,484,034	流動負債	142,800,107
現金・預金	110,360,868	未払金	129,536,929
未収運賃	7,172,340	未払法人税等	1,590,000
未収金	199,298,043	未払消費税	2,869,000
商品及び貯蔵品	27,861,889	預り連絡運賃	1,316,960
貸付金	202,548	預り金	3,118,098
その他の流動資産	8,588,346	預り申込金	2,016,130
		前受運賃	2,352,990
固定資産	84,658,269		
鉄道事業固定資産	79,357,662	固定負債	66,819,871
有形固定資産	77,651,281	退職給付引当金	66,819,871
土地	10		
建物・建物附属設備	10,642,170	負債合計	209,619,978
構築物	24,199,507		
車両	29,126,994	<b>(純資産の部)</b>	
機械装置	5,489,754	株主資本	
工具・器具・備品	8,192,846	資本金	300,000,000
運搬具	1,706,381	繰越利益剰余金	△ 71,477,675
無形固定資産	1,180,607		
投資等	4,120,000	純資産合計	228,522,325
投資その他の資産	4,120,000		
<b>資産合計</b>	<b>438,142,303</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>438,142,303</b>

# 損 益 計 算 書

(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	
鉄 道 事 業		
営 業 収 益	419,832,401	
営 業 費	530,747,812	
鉄道事業営業損失		△ 110,915,411
関 連 事 業		
営 業 収 益	26,798,426	
営 業 費	21,963,148	
関連事業営業利益		4,835,278
全事業営業損失		△ 106,080,133
固 定 資 産 税		21,206,900
全事業営業損失総計		△ 127,287,033
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	284,027	
資産対策費補助	16,471,400	
その他の収益	3,373,308	
営業外収益合計		20,128,735
経 常 収 益 計		466,759,562
経 常 支 出 計		573,917,860
経 常 損 失		△ 107,158,298
特 別 利 益		
補 助 金 等	188,732,625	
受 入 保 険 金	23,202,325	
特別利益合計		211,934,950
特 別 損 失		
固定資産圧縮損	69,299,997	
固定資産廃棄損	4,452,009	
災 害 損 失	20,900,000	
特別損失合計		94,652,006
税引前当期純利益		10,124,646
法人税、住民税及び事業税		1,590,000
当 期 純 利 益		8,534,646

# 損益計算書の要旨

(税抜／単位：千円)

		収 入			支 出				
科 目		18年度	19年度	増減分析等	科 目		18年度	19年度	増減分析等
経常収益	定期運賃	118,495	113,662	生徒数減少	経常損失	人件費	312,756	291,336	給与等削減
	定期外運賃	191,546	191,834			修繕費	89,164	95,680	車両・施設老朽化
	地元団体	16,565	16,342			動力費（燃料他）	58,673	66,133	原油高騰
	観光団体	38,088	56,661	観光客増加		その他経費	80,572	81,337	
	運輸雑収	37,724	41,335			固定資産税等	35,393	39,432	
	旅行業	22,234	16,860	店頭販売減		経常費用計(b)	576,558	573,918	
	物販業	10,653	9,938		特別損失	固定資産圧縮損	38,700	69,300	近代化補助事業
	営業外収入	4,890	3,657			固定資産廃棄損	0	4,452	
	資産対策費補助金	16,930	16,471			補助事業費	30,500	0	
	経常収益計(a)	457,125	466,760	前年比約960万円増		災害損失	4,295	20,900	
				特別損失計	73,495	94,652			
特別利益	前年度経常損失補助金	120,541	119,433		法人税等	847	1,590		
	その他補助金等	69,762	92,502		当期支出合計(B)	650,900	670,160		
	特別利益計	190,303	211,935		経常損失(a)－(b)	△119,433	△107,158	昨年度より 12,275千円改善	
当期収入合計(A)		647,428	678,694		当期利益(A)－(B)	△3,472	8,535		

# 株主資本等変動計算書

(単位:円)

	株 主 資 本										純資産合計(*3)	
	資 本 金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本合計			
		資本準備金	その 他 資 本 剰 余 金	資本剰余金 合計(*3)	利益準備金	その 他 利 益 剰 余 金 (* 1)						利 益 剰 余 金 合 計 (* 3)
						積 立 金	繰越利益剰余金					
前 期 末 残 高	300,000,000			0			△ 80,012,321	△ 80,012,321		219,987,679	219,987,679	
当期変動額(*4)				0				0		0	0	
新株の発行				0				0		0	0	
剰余金の配当				0				0		0	0	
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立				0				0		0	0	
当期純利益				0				0		0	0	
自己株式の処分				0				0		0	0	
				0				0		0	0	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				0				0		0	0	
当期変動額合計	0	0	0	0	0	0	8,534,646	8,534,646	0	8,534,646	8,534,646	
当 期 末 残 高	300,000,000	0	0	0	0	0	△ 71,477,675	△ 71,477,675	0	228,522,325	228,522,325	

## 個別注記表

平成19年4月1日から  
平成20年3月31日まで

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価方法及び基準

商品及び貯蔵品は、最終仕入原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は、定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、今年度の支給実績がなく計上しておりません。

(4) 消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(5) 安全性緊急評価事業による保全整備計画に基づく緊急及び中長期のトンネル・橋梁改修工事を行うに当たり、鉄道軌道近代化設備整備費補助事業として、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構と岩手県並びに沿線市町村から補助金を受けております。

これらの補助金は、当該固定資産の取得原価から直接減額して計上しております。

## 貸借対照に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 308,293,470 円
- (2) 固定資産の取得原価から直接減額された補助金等累計額  
1,432,429,480 円

## 損益計算書に関する注記

- (1) 鉄道事業営業収益の内訳は次のとおりであります。

旅客運輸収入	378,499,510	円
運輸雑収入	41,332,891	円
計	419,832,401	円

- (2) 鉄道事業営業費の内訳は次のとおりであります。

運送費	469,087,168	円
案内宣伝費	85,000	円
厚生福利施設費	3,524,640	円
一般管理費	40,462,016	円
付加価値割・資本割事業税	1,498,600	円
諸税	171,319	円
減価償却費	15,919,069	円
小計	530,747,812	円
固定資産税	21,206,900	円
合計	551,954,712	円

- (3) 関連事業の取扱額は次のとおりであります。

旅行業	314,649,322	円
物品販売業	52,998,417	円
その他	803,299	円
計	368,451,038	円

(4) 国、岩手県及び沿線市町村から次の支援を受けています。

- ① 鉄道軌道近代化設備整備費等補助金  
南北リアス線トンネル・橋梁改修外 69,300,000 円
  
- ② 三陸鉄道運営費補助（固定資産税額相当経費分）  
日本鉄道建設公団から鉄道資産の無償譲渡に直接起因して課税された  
固定資産税額に相当する額  
16,471,400 円
  
- ③ 三陸鉄道運営費補助（前年度経常損失額相当経費分）  
平成18年度において、旅客を運送する事業の経常損益の計算上生じた  
損失額に相当する額  
119,432,625 円
  
- ④ トンネル・橋梁の無償借受  
固定資産税の軽減を図るためトンネル・橋梁を沿線市町村に 寄附し、  
当該資産を無償で借り受けています。  
なお、管理費用は三陸鉄道が負担しています。
  
- ⑤ 岩手県三陸鉄道強化促進協議会からの支援  
マイレール三鉄・沿線地域30万人運動の展開、「よくできました号」  
の運行の外、「リアス・シーライナー」などの四季を通じての企画列車の  
運行、三陸鉄道を利用するツアーの造成・PR・集客等の旅行エージェント  
への委託や三陸鉄道利用者補助制度の特別事業。